

## 授業科目 臨床実習 I (関連施設)

【担当教員名】 東江 由起夫、飯塚 尚 他		対象学年	2	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○		○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 将来の勤務施設、関連職種について理解を深め、専門職像をより明確にするために、関連施設を見学する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臨床実習 I (施設見学) の意義について説明できる。 2. 訪問先で適切な態度、身なりで、コミュニケーションが実践できる。 3. 訪問先で必要項目について記録することができる。 4. 訪問施設の業務内容が説明できる。 5. 専門職の役割や連携、業務内容について説明することができる。 6. 見学実習レポートを作成することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	学内
2	見学実習 I (義肢装具製作施設)			2～5	学外 (基礎ゼミ I 担当教員引率)
3	見学実習 II (福祉用具レンタル販売施設、高齢者体験)			2～5	学外 (基礎ゼミ I 担当教員引率)
4	見学実習 III (福祉機器の製造・開発施設)			2～5	学外 (基礎ゼミ I 担当教員引率)
5	見学実習 IV (医療・福祉施設)			2～5	学外 (基礎ゼミ I 担当教員引率)
6	報告書作成 (各見学実習につき 1 つの報告書を提出)			6	学内
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		臨床実習 I の手引き			
【評価方法】 ?@ 臨床実習報告書 (学生が提出するレポート)、2. 学習態度 (欠席回数を含む)。原則、実習の 1 / 3 を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。			【履修上の留意点】 将来、医療に従事する職業に就くという意識を高めることが目標であるため、学外実習にふさわしい「身なり (髪型、服装など)」と「態度」が実践できない者は参加できない。		